

令和3年 3月 19日

登録番号 16 — 009

氏名 下山 陽介

登録番号 14 - 012

氏名 乗友 美智子

登録番号 16 — 005

氏名 國吉 哲久

## 大阪市地域公共人材活動報告書

### 記

- 1 派遣日時 令和3年3月19日（金） 17:00 ～ 19:00  
（初回ヒア）
- 2 派遣場所 堺筋高橋ビル5階(大阪NP0センター セミナースペース) (Worker & Cancer)
- 3 参加人員 6人 内訳：依頼団体1名、公共人材3名、事務局1名、大阪市1名

#### 4 活動内容

##### 【派遣内容・ミッション】

新しい拠点で事業を展開していきたい。展開の仕方として、地域活動協議会などの地域活動と協働していきたい。新しい拠点で、自分たちの活動へのニーズがあるかどうかの市場確認などを、会議にて明確にしていきたい。

また、自分たちの組織ができること・できないことを明確にして文章化し、地域コミュニティに貢献できる団体としてのミッションも検討する会議の支援について、ファシリテーションおよび専門的見地からの助言を行う。

##### 【支援概要】

派遣依頼内容に基づいて初回ヒアリングを行い、課題の共有とゴール設定について合意を図った。

##### 【支援内容】

###### ①ニーズの確認

これまで問題なく事業を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響によって活動の拠点としていたレンタルスペースが閉鎖する事となった。移転先については新しい縁があり確保出来てはいるが、これを機に改めて自団体の事業を見直したい。そのために今後の事業計画について公共人材の場を活用して一から検討していきたい。

###### ②主なヒアリング内容抜粋

- 事業ターゲットのメインは「退院後のガン患者」であり、これからの不安を払拭したい。
- 患者にとってこれからの生活をナビゲートする水先案内人のような役割を果たしたい。
- 長く付き合うことになる「ガン」は、病院とのかかわりあい方、特に主治医などとの

コミュニケーションの取り方が鍵となるので、経験者としてアドバイスしたい。また、関係支援機関を知らない人が多いので情報提供したい。

- キッチンのあるカフェを活動拠点として確保しているが、活動手法についてもオンラインや動画配信などの可能性を含めて検討を重ねていきたい。
- 医療業界の「言い切らない（言い切れない）」特徴に対し、はっきりと言い切ってあげられる点が団体の強みである。
- 患者家族も不安を抱え、相談先が無い事で困っていると考えられる。しかし、現段階では患者本人の方が優先度は高いと考えている。
- 事業は、手の届く範囲で収支のバランスが取れる活動が出来れば良い。
- 団体オリジナルの製品として手帳の開発を考えている。当初はノベルティとして相談者に手渡しする予定だが、今後事業として進めていく可能性もある。この点についても話し合いを行いたい。

#### 【今後の派遣計画】

初回ヒアリングによって、団体の方が取り組んでいきたい事業の核となる考え方が少しずつ明確になってきた。これらを基に次回以降、最低限の事業計画要素を満たせるよう活動の再検討、再構築を行っていく。

第1回 事業ターゲット像の明確化、提供価値、提供手法について協議

第2回 同上

第3回 提供場所、広報手段、組織体制、収支見込等、その他事業要素について検討

第4回 団体独自製品（手帳）作成にあたってのディスカッション

第5回 （予備日）

#### 5 所感

初回ヒアリングとして、団体の方の考えの軸を引き出し共有する事に重点を置いて進めたが、団体の方自身も事業の軸足をどこに置くかはまだまだ検討を重ねていきたいとお考えだと感じられた。多様なメンバーが集まる公共人材の場だからこそ出来る支援として、多くの選択肢や可能性を提示し団体の方の視野を広げた上で納得した意思決定が行えるよう留意して今後を進めていきたい。

#### 所感

初回ヒアリングの中で、団体の方の思いを聴くことができた。2時間のヒアリングの中で、患者の家族から本人を対象にと方向性が見えてきた。「食」への関心も深いところからリアルな対面がメインかと思われるが、オンラインのメリットにも関心を示されていた。また、ヒアリングの初めの方では、新しい拠点で多くの人に来てもらいたいような感じであったが、あとの方では少人数制でゆっくりと話を聴きたいような発言もあった。全体を通して、思いと実際の事業内容との擦り合わせが必要であると思われる。地域公共人材が入らせていただき、依頼者の思いを事業計画に落とし込んでいけるよう、関わらせていただきたい。

#### 所感

初回ヒアリングでは自分自身の役目はどこにあるかを模索するために団体の方のお考えをきいてましたところ、事前のミッションは地域活動協議会との協働と言うことでありましたが、地元密着型と言うよりは、お一人お一人を大事に面と向かって対話していく個人向けではないのかと感じました。梅田からも近く、お洒落な古民家の町として有名になった中崎町という場で、相談される方は参加しやすいのではないかと思います。